

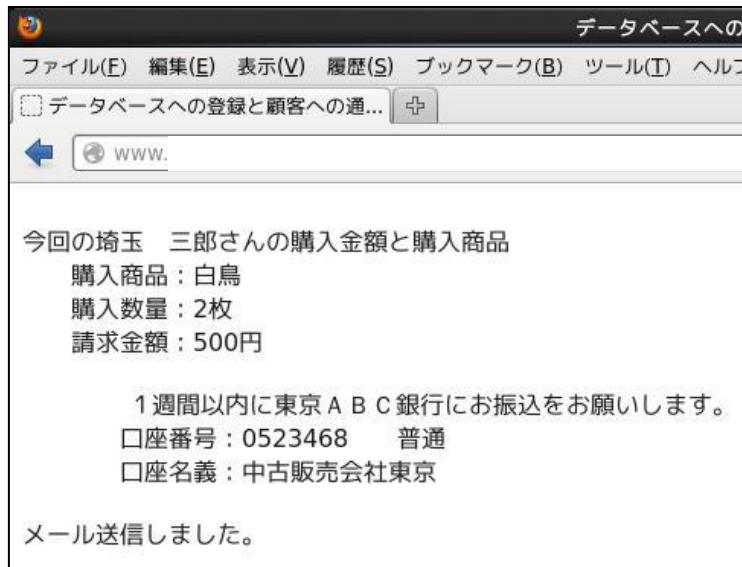


第21話 (販売システムV)

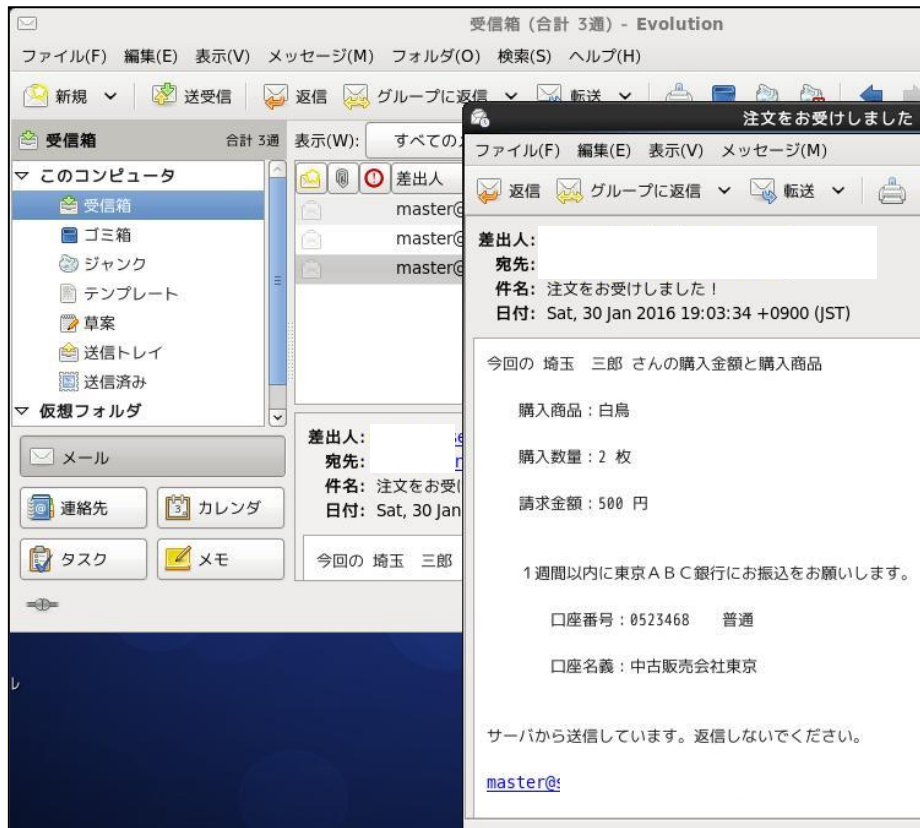


タヌキ、レンタルCDの購入者に対して、ブラウザ上に下図のように表示すると同時に購入者の登録メールに同じ文面を送信する、というのはどうだろうか？

[購入受け付けのブラウザの表示]



[購入者に送信されたメール]





キツネ、いいね。面白そうだね。
これって、管理者がPCに張り付いていて、1人々々の顧客にメールを送っているのか？



タヌキ、上図のメールの最後の文章を見てくれ、「サーバから送信しています。返信しないでください。」となっているだろう。これは、嘘では無く、本当にメールサーバから自動送信されているのだ。その為にも、サーバ機にはさらにメールサーバを追加しなければならないのだ。
メールサーバについては、概略を説明しておくので、タヌキ、いつものようにネットを使って自力で構築してね。



なるほど、オイラがメールサーバを追加するのか。
大変そうだけれどもやってみるよ。
メールって、送信と受信があるのだから。メールサーバも2種類あるのか？



タヌキ、良いところに気が付いたな。送信用サーバはSMTP（送信プロトコル名）サーバといい、Postfixというパッケージをインストールすることになる。ただ、CentOS 7をインストールした時に同時にインストールされている場合が多いのだ。/etc/postfix/というディレクトリにmain.cfという設定ファイルがあれば、インストールされている、と考えて良い。確認してね。
受信サーバはPOP（受信プロトコル名）サーバといい、dovecotというパッケージをインストールすることになる。こちらは、必ずインストールしてね。両方そろってメールサーバとして機能することになるのだ。



オイラが Postfix のインストールの是非を確認し、なければインストールし、さらに dovecot をインストールすれば良いんだな。ネットという強い味方もいるしな。



タヌキ、インストールした後も多くの設定しなければなら
ないファイルがあるから結構大変だぞ。

さらに、テストようにメーラが必要だから、それも準備しておいてくれ。オイラは、Tunderbird (サンダバード) をインストールして使っているぞ。この操作にも慣れておかないとテストできないからな。

一応、一ヶ月与えるから、その間になんとか頑張ってくれ。一ヶ月後に以下の作業を進めてくれ。



了解、了解。オイラの実力を試してみるよ。



一ヶ月経ちました。

:

タヌキ、メールサーバの構築は終わったかな。終わったら、続きを始めるぞ。



なんとか終わったよ。

Tunderbird (サンダバード) で自分宛にメールの送受信のテストもしたよ。

メールアドレスも

raccoon@shns-m.com と

fox@shns-m.com の2個作っておいたよ。



じゃ、話を進めるぞ。

メールを自動送信する為に、PHP のスクリプトの中で `mb_send_mail()` 関数を使うこととなります。この関数を使う為には、`php-mbstring`、`php-imap` が追加でインストールされていなければなりません。さらに、`libc-client` が `php-imap` と依存関係にあるから、両方インストールすることとなります。

具体的にいうと、以下の2個の RPM パッケージをダウンロードし、Root のディレクトリに保存し、`rpm` コマンドでインストールします。

`libc-client-2007f-16.el7.x86_64.rpm` の検索をし、ダウンロードする。

[https://rpmfind.net/linux/rpm2html/search.php?query=libc-client\(x86-64\)](https://rpmfind.net/linux/rpm2html/search.php?query=libc-client(x86-64))

`php-imap-5.4.16-9.el7.x86_64.rpm` の検索をし、ダウンロードする。

[https://rpmfind.net/linux/rpm2html/search.php?query=php-imap\(x86-64\)](https://rpmfind.net/linux/rpm2html/search.php?query=php-imap(x86-64))

上記の2パッケージを root ディレクトリに保存したら、端末を開いて以下を実行する。

```
# rpm -ihv libc-client-2007f-16.el7.x86_64.rpm
```

```
php-imap-5.4.16-9.el7.x86_64.rpm
```



2個のパッケージは外部から取り込むのか、PC がインターネットに接続されていないといけないし、結構大変そうだな。端末で使う、`rpm` の命令も初めて使うよな。`-ihv` はオプションか？



オプション`-ihv` は、初めてインストールする時のおまじない程度に考えておけば良いよ。

ただ、PHP のプログラムを作る前にデータベース (`cdfox`) のテーブル (`cduserm`) を新たに作らなければならないよ。なぜなら顧客のメールアドレスを記憶する項目が必要だろう。以下に見本を提示するよ。

[作成例]

mysql のデータベース (cdfox) のテーブル (cduser) に userMail というメールアドレスを保存するフィールド (項目) を追加し、テーブル名を cduserm とする。

[作成]

```
MariaDB [cdfox]> create table cduserm(ucode varchar(4), uname varchar(100),  
userMail varchar(50), rireki varchar(4), kazu int);
```

[作成確認]

```
MariaDB [cdfox]> show columns from cduserm ;
```

Field	Type	Null	Key	Default	Extra
ucode	varchar(4)	YES		NULL	
uname	varchar(100)	YES		NULL	
userMail	varchar(50)	YES		NULL	
rireki	varchar(4)	YES		NULL	
kazu	int(11)	YES		NULL	

5 rows in set (0.01 sec)



以上実行するプログラムは以下のようなになるぞ。ちょっと大きなプログラムになるが、ブラウザ表示とメール送信の両方を含んでいるので仕方ないだろう。

プログラム名は、[rtest036.php] とする。当然、最初に実行するのは、rtest01.html で次が rtest021.php で次が、この rtest036.php だ。ある程度プログラムの修正が必要だからな。

```

<HTML>
<HEAD>
<TITLE>データベースへの登録と顧客への通知</TITLE>
</HEAD>
<BODY>
<?php
$userCode = $_GET['userCode'];
$userName = $_GET['userName'];
$shoCode = $_GET['shoCode'];
$shoSu = $_GET['shoSu'];
$userMail = $_GET['userMail'];

$conid1 = mysqli_connect("localhost","ftpuser","ftpuser","cdfox");
if (mysqli_connect_errno()) {
    die("データベースに接続できません:" . mysqli_connect_error() . "\n");
}
$query1 = "INSERT INTO cduserm (ucode, uname, userMail, rireki, kazu) VALUES
('$userCode','$userName', 'userMail', '$shoCode', '$shoSu');";
if (mysqli_query($conid1, $query1)) { //ここ
    echo "INSERT に成功しました。 \n"; //ここ
}
mysqli_close($conid1);
?>

<?php
$conid2 = mysqli_connect("localhost","ftpuser","ftpuser","cdfox");
$conid3 = mysqli_connect("localhost","ftpuser","ftpuser","cdfox");

$query2 = "select * from cduserm where ucode = '$userCode';"; //ここ
// クエリを実行します。
if ($result2 = mysqli_query($conid2, $query2)) {
    foreach($result2 as $row2){
        $ucode = $row2['ucode'];
        $uname = $row2['uname'];
        $userMail = $row2['userMail'];
        $rireki = $row2['rireki'];
        $kazu = intval($row2['kazu']);
    }
}

```

```

    }
}
$query3 = "select * from cdshohin where scode = '$rireki'";
// クエリを実行します。
if ($result3 = mysqli_query($conid3, $query3)) {
    foreach($result3 as $row3){
        $scode = $row3['scode'];
        $sname = $row3['sname'];
        $jaketto = $row3['jaketto'];
        $music = $row3['music'];
        $zaiko = intval($row3['zaiko']);
        $kakaku = intval($row3['kakaku']);
    }
}
$gou = $kakaku * $kazu;
$zai = $zaiko - $kazu;
$query4 = "update cdshohin set zaiko = '$zai' where scode = '$scode'";
// クエリを実行します。
if (mysqli_query($conid2, $query4)) {
    echo "更新 に成功しました。¥n";
}
mysqli_close($conid2);
mysqli_close($conid3);
?>
<BR>
今回の<?php echo $uname ?>さんの購入金額と購入商品<BR>
    購入商品 : <?php echo $sname; ?><BR>
    購入数量 : <?php echo $kazu; ?>枚<BR>
    請求金額 : <?php echo $gou ?>円<BR><BR>
    1 週間以内に東京 A B C 銀行にお振込をお願いします。 <BR>
    口座番号 : 0523468    普通<BR>
    口座名義 : 中古販売会社東京<BR><BR>
<?php
mb_language('Ja');
$to = $userMail;
$from = "fox@shns-m.com";
$title = "注文をお受けしました！";

```

```
$naiyou = "今回の $uname さんの購入金額と購入商品 ¥n
    購入商品 : $sname ¥n
    購入数量 : $kazu 枚 ¥n
    請求金額 : $gou 円 ¥n¥n
    1週間以内に東京ABC銀行にお振込をお願いします。 ¥n
        口座番号 : 0523468    普通¥n
        口座名義 : 中古販売会社東京¥n¥n
サーバから送信しています。返信しないでください。 ¥n$from ¥n";

if($to != "" and $from != "" and $title != "" and $naiyou != "")
    {if (mb_send_mail($to,$title,$naiyou,"FROM:". $from))
        {echo "メール送信しました。";}
        else {echo "メール送信に失敗しました。";}
    }
?>

</BODY>
</HTML>
```



プログラムは長いし、内容も難しそうだな。
結果はどうなるのだ？

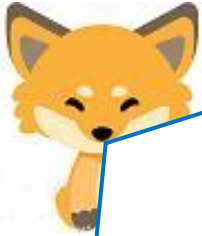


タヌキにはチョット難しいかな。
正しく実行されれば、結果は以下のようなになる。

[rtest021.php の変更の表示例]

[ブラウザの表示例]

[確認メールの表示例。メーラは thunderbird]



チョット長かったけれども、これで「販売システム」の話は終わりだ。I からVまで、話した内容はレンタルサーバで提供されている WordPress で使われている内容そのままだ。ユーザインタフェースの部分では、HTML、JavaScript、CSS が使われている。サーバサイドスクリプトとしては、PHP が使われている。その基本的な内容はI からVまでの内容だ。当然データベースサーバに MySQL が使われている。誤って他のユーザのデータベースを破壊したら大変なので、端末から MySQL にログインし、データベースを直接操作することはできないが、phpMyAdmin というツール(アプリ)を使って MySQL のデータベースやテーブルを操作することができる。

という、WordPress でネットショップのサイトを作るのは大変なようにみえるが、ほとんどクリックしていただくだけでデータベースの作成も含め、基本的なサイトはできるので、1冊の図解本があれば問題ないと思う。さらに、サイトのテーマや各種プラグイン (PHP などのプログラム) が豊富に無料で提供されているので、プログラミングの知識が無くても作ることができるぞ。

ただ、バックの知識として、タヌキの頭の中にI からVまでの概要を持っているのと持っていないのは大きな違いがある。さらに、テーマやプラグインのカスタマイズをしようとする時には、I からVまでの知識は絶対必要である。



これで、レンタルサーバを使って WordPress でサイトを作ることができる気がしてきた。レンタルサーバは安いし (月 500 円程度)、サーバ管理の必要が無いので安心して楽だよな。



第22話からは、セキュリティの話でもするか。・・・・少し休憩だ。